

‘不知火’の収穫が始まりました（果樹コース）

果樹コースでは2月2日から‘不知火’を収穫しています。

農業大学校では、ガラス温室で栽培していますが、寒さ対策として昨年末には果実袋をかけ、大切に育ててきました。1月の寒波による被害もなく、無事に収穫を迎えることが出来ました。

収穫直後は、まだ酸味が残っているので、2週間程度おいてから出荷を始めます。

また、毎週木曜日に開催している農産物直売「和農市」で販売しますので、お越しの際はぜひお買い求めください。



果樹コース県内研修を実施

農業大学校果樹コースでは学生の学力向上を目的に、県内先進企業等への見学研修を実施しており、今年度は平成 29 年 2 月 10 日に「紀州食品株式会社」様と「中野 B C 株式会社」様へご訪問させていただきました。

「紀州食品株式会社」様では、原材料となる農産物の調達方法やミカン缶詰など加工商品の生産ラインまた、新商品の開発検討について教えていただきました。

「中野 B C 株式会社」様では、農産物を使った機能性食品（健康・美容）の商品開発や、山椒やレモンエキス入り梅酒などオリジナル商品の開発について教えていただきました。

農業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出など、農業の 6 次産業化が注目されるなか、学生達にとって大変有意義な研修だったと思います。



紀州食品株式会社（製造所見学）



中野 B C 株式会社（会社概要説明）

花きコース1、2年生 県内研修を実施

花きコース1、2年生10名が、県内の花き生産状況を学習するため、平成29年2月13日に農業試験場暖地園芸センター、御坊市の「のむら農園」（園主：野村直佑さん）、印南町の「山下農園」（園主：山下勝也さん）を訪問し、それぞれ、花きの試験研究、スターチス、カスミソウの栽培状況等について勉強させて頂きました。

暖地園芸センターでは、スターチスの低コスト新育苗技術の試験状況をはじめ、新花きの栽培試験等についての説明を受け、学生達は興味深く聞き入っていました。

のむら農園さんではスターチスを、山下農園さんではカスミソウを、それぞれ栽培中のハウス内で、定植から出荷までの栽培管理のポイントや出荷規格、価格等についての説明を受けました。

また、のむら農園さんでは、1月の雪により半壊したハウスも見せて頂き、自然災害の怖さと農業の大変さを知る貴重な機会であったかと思えます。

農大でも今回のスターチス、カスミソウは栽培していますが、農家さんが栽培しているのを見るのは初めての学生がほとんどで、ボリュームのある見事な花に驚くとともに、生の声を聞かせて頂き、大変有意義な研修でした。



試験研究概要説明（暖地園芸センター）



新花き栽培試験（暖地園芸センター）



スターチス栽培と雪害ハウス（のむら農園）



カスミソウ栽培（山下農園）

平成28年度農業大学「社会人課程」（離転職者等職業訓練「農業科」）修了式

2月20日、社会人課程（離転職者等職業訓練「農業科」）の修了式が執り行われました。

社会人課程は農業分野への就職、就農を目指す社会人を対象に農業の基礎知識を習得する研修で、昨年5月20日から野菜、花きの専攻コースに分かれ研修を実施してきました。

今年度は4名の研修生が、9ヶ月の研修を修了し、和歌山産業技術専門学院長から修了証書が授与されました。

今後、研修で得た知識、技術を活かし、自営就農等を開始し、地域の担い手として活躍されること期待しています。



大江校長の挨拶

平成28年度卒業証書授与式が開催されました

平成29年2月28日（火）、平成28年度卒業証書授与式が開催され、24名の学生が農業大学校を巣立っていきました。

式では大江校長から1人ずつ卒業証書が手渡された後、成績優秀者と皆勤者に賞状の授与が行われました。引き続き校長の祝辞、知事祝辞（農林水産部長代読）、来賓祝辞があり、温かいお祝いと激励の言葉を頂戴しました。また、来賓として11名の方にご出席いただきました。

次に、卒業記念品目録の贈呈、在校生からの送辞、卒業生からの答辞があり、答辞では卒業生の鈴木佑典さんから農業大学校での思い出や感謝の気持ち、これからの抱負が述べられました。

卒業生は、自家就農、雇用就農、JAの営農指導員の他、肥料や農業機械、流通関係企業、海外研修等にそれぞれ進みます。農業大学校から羽ばたいた24名が、将来立派な社会人となり和歌山県の農業に貢献し、活躍してくれることを願っています。



卒業証書授与の様子



答辞の様子



卒業生一同